

事業間優先度評価システム 評価シート

主要目標番号	I. I - 3. (2)
対象事業	農地整備事業 〔畑地帯総合整備事業〕 〔耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業〕
主要目標	農業生産力の向上

優先順位付けの考え方	対象地区・箇所名	個別事業の妥当性評価						事業間優先度の評価						事業間ランク	評価委員会意見	総合意見	評価結果		
		公共関与、事業執行主体の妥当性	経済効率性	事業実施、規模の妥当性	整備手法の有効性	環境負荷への配慮	事業計画の熟度	貢献度ランクの評価			副次効果ランクの評価								
								貢献度ランク	農業所得増加額 千円/ha			副次効果ランク	評点						
農業所得増加額 が大きい地区を優先する	上岩下西部	○	○	○	○	○	○	a	3,364				1	4	SI	実施は妥当		実施 実施 実施	
	内野	○	○	○	○	○	○	a	817				2	2	I				
	三吹	○	○	○	○	○	○	a	2,265				1	3	SI				
								作物転換無し	基準値	810以上 405以上			基準値	3.0					
								作物転換有り	基準値	2,429以上 1,214以上									

副次効果評価シート

主要目標番号		I. I-3.(2)		主要目標に対応する副次効果項目	対象地区・箇所 で想定される副次効果	評価の説明	評価結果
主要目標		農業生産力の向上					
評価対象地区・箇所名				上岩下西部			
主要目標体系	I 県民生活の豊かさ と経済の発展を支える 基盤充実	I-1 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上				
			(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上				
			(3) 市街地内の交通の円滑化				
			(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上	●			
		I-2 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上				
			(2) 憩い空間の創出				
			(3) 生活排水処理機能の向上				
			(4) 良好な市街地空間の確保				
			(5) 適正な居住空間の確保				
			(6) 歩行者等の通行空間の確保				
			(7) 道路景観の向上				
		I-3 農林水産業の振興	(1) 農村生活・生産機能の向上				
	(2) 農業所得の向上						
	(3) 農業用排水能力の向上		●	○	主要目標「農業用排水能力の向上」の評価指標によるランクa 用排水能力の向上率 1.68 ≥ 1.0 老朽度 1.57 ≥ 1.0	2	
	(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)						
	(5) 森林整備の効率化						
	(6) 洪水被害の危険度の軽減						
	II 暮らしと経済活動の 安全性確保	II-1 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保				
(2) 災害に強い道路の確保							
(3) 都市災害の防止							
(4) 交差点の安全性、円滑性の向上							
II-2 洪水・土砂被害の防止		(1) 洪水被害の防止					
		(2) 土石流被害の防止					
		(3) 崖崩れ被害の防止					
		(4) 地滑り被害の防止					
II-3 鳥獣被害の防止		(1) 鳥獣被害の軽減	●				
副次効果評価項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化					
		アクセス機能の維持	●				
		主要渋滞ポイントの解消					
	生活環境	水質の浄化					
		大気汚染の軽減					
		騒音・振動の軽減					
		良好な景観の創出					
		バリアフリー化の促進					
		ライフラインの強化					
		身近な緑地・交流の場の提供					
		飲雑用水の安定供給	●				
		糞尿の処理	●				
	地域の文化・学習等活動の支援	●					
	各種情報の円滑な提供	●					
	自然環境	水源涵養機能の向上					
		生態系空間の再生					
		果樹園景観の保全	●		基盤整備が進むことで、果樹園の景観が保全が図られる。	1	
	事故・災害防止	防火帯・延焼遮断帯の確保					
緊急時の避難・救助機能の確保							
被災時の被害波及の防止							
既存施設の崩壊危険性の排除		●					
生産性	走行安全性の確保	●					
	林業所得の向上	●	○	基盤整備が進むことで、遊休農地の活用が図られる。	1		
	遊休農地の解消	●					
	新たな公共用地の創出	●					
その他	農地の保全	●					
	農林産物の販売促進	●					
	自然エネルギーの活用	●					
	リサイクルの推進	●					
	文化・歴史的資源等の保存・復元	●					
他事業との一体施工	●						
重要プロジェクトとしての位置づけ	●						
副次効果評価項目							4

注1)「主要目標に対応する副次効果項目」の欄に「●」が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所」で想定される副次効果」の欄に「○」を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。
 注2)副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクb以下の場合には1点とする。

副次効果評価シート

主要目標番号		I.I-3.(2)		主要目標に対応する副次効果項目	対象地区・箇所 で想定される副次効果	評価の説明	評価結果
主要目標		農業生産力の向上					
評価対象地区・箇所名				内野			
主要目標体系	I 県民生活の豊かさ と経済の発展を支える 基盤充実	I-1 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上				
			(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上				
			(3) 市街地内の交通の円滑化				
			(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上	●			
		I-2 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上				
			(2) 憩い空間の創出				
			(3) 生活排水処理機能の向上				
	(4) 良好な市街地空間の確保						
	I-3 農林水産業の振興	(5) 適正な居住空間の確保					
		(6) 歩行者等の通行空間の確保					
		(7) 道路農道の向上					
		(1) 農村生活・生産機能の向上					
		(2) 農業所得の向上					
		(3) 農業用排水能力の向上	●				
	副次効果項目	II 暮らしと経済活動の 安全性確保	II-1 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保			
(2) 災害に強い道路の確保							
(3) 都市災害の防止							
(4) 交差点の安全性・円滑性の向上							
II-2 洪水・土砂被害の防止		(1) 洪水被害の防止					
		(2) 土石流被害の防止					
		(3) 崖崩れ被害の防止					
		(4) 地滑り被害の防止					
II-3 鳥獣被害の防止		(1) 鳥獣被害の軽減	●	○	主要目標「鳥獣被害の軽減」の評価指標によるランクb 計画防護面積当たり年想定平均被害軽減額 496千円/ha・年 ≥ 254千円/ha・年	1	
副次効果評価項目		交通利便性	交通ターミナル機能の強化				
			アクセス機能の維持	●			
			主要渋滞ポイントの解消				
	生活環境	水質の浄化					
		大気汚染の軽減					
		騒音・振動の軽減					
		良好な景観の創出					
		バリアフリー化の促進					
		ライフラインの強化					
		身近な緑地・交流の場の提供					
飲雑用水の安定供給		●					
糞尿の処理	●						
自然環境	地域文化・学習等活動の支援	●					
	各種情報の円滑な提供	●					
	水源涵養機能の向上						
事故・災害防止	生態系空間の再生	●					
	果樹園景観の保全	●					
	防火帯・延焼遮断帯の確保						
	緊急時の避難・救助機能の確保						
生産性	被災時の被害波及の防止						
	既存施設の崩壊危険性の排除	●					
	走行安全性の確保	●					
	林業所得の向上	●	○	基盤整備が進むことで、遊休農地の活用が図られる。	1		
	遊休農地の解消	●					
その他	新たな公共用地の創出	●					
	農地の保全	●					
	農林産物の販売促進	●					
	自然エネルギーの活用	●					
	リサイクルの推進	●					
副次効果評価項目	文化・歴史的資源等の保存・復元	●					
	他事業との一体施工	●					
	重要プロジェクトとしての位置づけ	●					
副次効果評価項目							2

注1)「主要目標に対応する副次効果項目」の欄に「●」が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所」で想定される副次効果」の欄に「○」を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。
 注2)副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクb以下の場合には1点とする。

副次効果評価シート

主要目標番号		I.I-3.(2)		主要目標に対応する副次効果項目	対象地区・箇所 で想定される副次効果	評価の説明	評価結果
主要目標		農業生産力の向上					
評価対象地区・箇所名				三吹			
主要目標体系	I 県民生活の豊かさ と経済の発展を支える 基盤充実	I-1 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上				
			(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上				
			(3) 市街地内の交通の円滑化				
			(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上	●			
		I-2 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上				
			(2) 憩い空間の創出				
			(3) 生活排水処理機能の向上				
			(4) 良好な市街地空間の確保				
			(5) 適正な居住空間の確保				
			(6) 歩行者等の通行空間の確保				
			(7) 道路景観の向上				
		I-3 農林水産業の振興	(1) 農村生活・生産機能の向上				
	(2) 農業所得の向上						
	(3) 農業用排水能力の向上		●	○	主要目標「農業用排水能力の向上」の評価指標によるランクa 用排水能力の向上率 1.25 ≥ 1.0 老朽度 1.56 ≥ 1.0	2	
	(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)						
	(5) 森林整備の効率化						
	(6) 洪水被害の危険度の軽減						
	II 暮らしと経済活動の 安全性確保	II-1 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保				
(2) 災害に強い道路の確保							
(3) 都市災害の防止							
(4) 交差点の安全性、円滑性の向上							
II-2 洪水・土砂被害の防止		(1) 洪水被害の防止					
		(2) 土石流被害の防止					
		(3) 崖崩れ被害の防止					
		(4) 地滑り被害の防止					
II-3 鳥獣被害の防止		(1) 鳥獣被害の軽減	●				
副次効果評価項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化					
		アクセス機能の維持	●				
		主要渋滞ポイントの解消					
	生活環境	水質の浄化					
		大気汚染の軽減					
		騒音・振動の軽減					
		良好な景観の創出					
		バリアフリー化の促進					
		ライフラインの強化					
		身近な緑地・交流の場の提供					
		飲雑用水の安定供給	●				
		糞尿の処理	●				
	地域の文化・学習等活動の支援	●					
	各種情報の円滑な提供	●					
	自然環境	水源涵養機能の向上					
生態系空間の再生							
果樹園景観の保全		●					
事故・災害防止	防火帯・延焼遮断帯の確保						
	緊急時の避難・救助機能の確保						
	被災時の被害波及の防止						
	既存施設の崩壊危険性の排除	●					
生産性	走行安全性の確保	●					
	林業所得の向上	●	○	基盤整備が進むことで、遊休農地の活用が図られる。	1		
	遊休農地の解消	●					
	新たな公共用地の創出	●					
	農地の保全	●					
その他	農林産物の販売促進	●					
	自然エネルギーの活用	●					
	リサイクルの推進	●					
	文化・歴史的資源等の保存・復元	●					
他事業との一体施工	●						
重要プロジェクトとしての位置づけ	●						
副次効果評価項目							3

注1)「主要目標に対応する副次効果項目」の欄に「●」が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所」で想定される副次効果」の欄に「○」を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。
 注2)副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクb以下の場合には1点とする。